

ラヴェル生誕150年

記念コンサート

《亡き王女のためのパヴァーヌ》ほか代表曲を
新進気鋭のアーティストによる演奏で



Sourire Trio スリールトリオ [ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール 優勝]

Violin **菊川 穂乃佳**
Honoka Kikukawa

Cello **田上 史奈**
Fumina Tagami

Piano **石黒 龍一**
Ryuichi Ishiguro

Piano
(連弾)
秋山 裕里加
Yurika Akiyama

2025.7.20 SUN
14:00 START / 13:30 OPEN

Program

ラヴェル M. Ravel

亡き王女のためのパヴァーヌ Pavane pour une infante défunte

水の戯れ Jeux d'eau

マ・メール・ロア Ma Mère l'Oye

ツイガーヌ Tzigane

ピアノ三重奏曲 イ短調 Trio en la mineur


ミズキーホール
横浜市港北区民文化センター

会場 横浜市港北区民文化センター ミズキーホール (5F) [全席自由]

料金

前売券 2,500円【チケットぴあ Pコード:289-708】 チケットぴあはこちら

【ミズキーホール窓口】

当日券 3,000円【ミズキーホール窓口】

2/15(土)より
販売開始



主催
お問い合わせ

横浜市港北区民文化センター ミズキーホール 〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東一丁目9番10号
TEL. 045-533-2360 FAX. 045-533-2350 開館時間 9:00~22:00(受付窓口 21:00) 第3火曜日休館日(祝日の場合は開館し翌日休館)

【協力】一般社団法人アーツブレッド 【監修】三谷 温

2025年生誕150年を迎えた、ラヴェル(Joseph Maurice Ravel, 1875-1937)は、サン=サーンス、フォーレ、ビゼー、ドビュッシー等と共にフランスを代表する作曲家です。柔らかで緩やかな響きをもつ名作『 亡き王女のためのパヴァーヌ 』、水の動態をピアノで見事に表現した傑作『水の戯れ』、子どもへの優しい愛情を感じさせる『 マ・メール・ロア 』、ヴァイオリンとピアノの超絶技巧が聴きどころの『 ツィガーヌ 』、ラヴェルが第一次世界大戦従軍を前に一気に書き上げた鬼気迫る『ピアノ三重奏曲』、以上ラヴェルの魅力がぎゅーとつまった彼の代表作を、次代を担う素晴らしいアーティストの皆さんの演奏でお届けします。ミズキーホールでしか聴くことのできない特別なプログラムです。どうかお聴き逃しなく!

Profile



菊川 穂乃佳 [ヴァイオリン]

第16回クスター・シェンタール国際ヴァイオリンコンクールにおいて優勝、あわせてヴィルトゥオーゾ賞を受賞他数々のコンクールにて優勝、また入賞をはたす。これまで浜松交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団他と共演。また室内楽にも積極的に取り組み、ウェールズ弦楽四重奏団によるウェールズ・アカデミー第1期生。NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク《アウトリーチセミナー2023》受講生。米・アスペン音楽祭に招待され、奨学生として参加。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学を首席で卒業、学内において福島賞、安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞を受賞。



田上 史奈 [チェロ]

第71回全日本学生音楽コンクール東京大会第1位、全国大会第2位。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2019 第1位。第39回草津夏期国際音楽アカデミーにて音楽監督賞受賞。ウェールズ弦楽四重奏団によるウェールズ・アカデミー第1期生。NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク《アウトリーチセミナー2023》受講生。これまでに中田有、山崎伸子、中木健二、フランシス・グトン各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、東京藝術大学を卒業。現在、東京藝術大学音楽研究科修士課程、マンハイム国立音楽舞台芸術大学修士課程に在籍。



石黒 龍一 [ピアノ]

北海道大樹町生まれ。4歳からピアノを始める。これまでにピアノを三谷温、津田裕也、植田克己、伊藤夢里子の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。モスクワ国際カバレフスキー音楽コンクールにて、日本人初となる部門優勝、カバレフスキー賞、グランプリの三冠を達成。大学の実技試験では成績優秀者に選ばれ、モーニングコンサートで藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演する他、ベーゼンドルファーコンサートなどにも出演。現在はコンサート以外にも作編曲やレッスン、音楽講座など幅広く活動しており、自身の演奏だけでなく音楽家として様々な自己表現の発信をしている。



秋山 裕里加 [ピアノ(連弾)]

3歳からピアノ、電子オルガンを始める。
昭和音楽大学短期大学部、国立音楽院卒業。卒業時に卒業演奏会、電子オルガン新人演奏会に出演。
これまでにピアノを岡澄子、三谷温、岳本恭司の各氏に、電子オルガンを岡澄子、梅本深雪、川田祐子の各氏に師事。